

人が輝き 未来が輝くまちを目指して

八頭町長 吉田英人



本町では、合併した平成17年12月に八頭町総合計画を策定して以来、町政の最高指針として、社会経済情勢の変化に対応し、総合的かつ計画的な行政運営を行ってまいりました。

しかしながら、時代はさらに変化しつつあり、人口減少・少子高齢社会の到来、経済のグローバル化、地球規模での環境問題の深刻化など、社会経済情勢は大きく変容しています。

そして、今、全国的に地方の活性化が求められるなかで、平成27年度は「地方創生」元年といわれており、これからも「自分たちの町のことは自分たちの手で」という自治の原点に軸足を置き、真の「地方創生」を目指してまちづくりに取り組む必要があります。

今後も時代の潮流は今まで以上に激しさを増すことが予想されますが、町民の皆様が安心して快適な生活をおくることができるまちづくりを進めるため、この度、平成36年度を目標年次とした第2次八頭町総合計画を策定いたしました。

この計画では、将来像として「人が輝き 未来が輝くまち 八頭町 ～豊かな自然とともに みんなでつくる ふれあいのまち～」を掲げました。

「人が輝き 未来が輝くまち」は、町民一人ひとりが地域への誇りと愛着を持ち、まちづくりを進めることで、無限の可能性を秘めた輝く未来への扉を開く、町民が主役のまちを表しています。

将来像の実現に向けて、自然・協働・敬愛のまちづくりの理念のもとに、町民の皆様とともに役割を担いながら、誇りを持ち、住んでいてよかったと感じ、住み続けることができるまちづくりに向け、職員一同鋭意努力してまいりますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、この計画の策定にあたりまして、ご尽力賜りました振興審議会委員並びに町議会議員の皆様をはじめ、まちづくり会議、町民アンケート調査などで貴重なご意見、ご提言をいただきました町民の皆様にご心からお礼を申し上げます。

平成27年3月